

# 若者の生きづらさ軽減に向けた心理指標と デジタルコンテンツの開発のための予備調査

## 研究目的

本研究では、大学生・若手社会人（18歳以上30歳未満）の生きづらさ軽減に向けた新たな心理指標と心のケアを目的としたデジタルコンテンツの開発に向け、若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現する仮想空間（メタバース）構築に向けた基盤を整備することを目的としております。

## 研究方法

1. アンケート調査：「心の不調」とそれを予測できると期待される心理尺度から構成されるアンケートにご回答いただきます。  
所要時間は15-20分を想定しています。
2. インタビュー調査：若者の生きづらさや心の不調に関する現状や、こころを整えるためにデジタル空間上に必要なコンテンツについて  
若者世代の方から、直接お話を伺います(所要時間:90分程度)

## 研究対象者

- ①18-29歳の大学生または社会人
- ②日本語の読み書き、会話に支障がない

※インタビューへの参加は、更に以下の条件を満たす必要があります

- ③自殺念慮や自殺企図がない
- ④現在精神科・心療内科に通院していない

## 調査期間

- ・研究機関の長の許可日から2026年3月31日まで実施する予定です。

## 個人情報保護に対する配慮について

- アンケート調査●
  - ・回答は無記名にて収集するため、アンケートから個人を特定することはできません。
- インタビュー調査●
  - ・収集したデータから個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号で管理します。
  - ・対象者の照合のため、研究用の番号から研究対象者を特定できる個人情報を管理する表を作成しますが、あなたの同意取得を担当した研究者が所属する研究機関外に本表が提供されることはありません。
  - ・共同研究機関や委託先とあなたの情報を提供することがありますが、彼らがインタビューデータを基に、あなた個人を特定することはできません。

## 情報公開

- ・本研究の成果は学術集会や論文などでの発表を予定しています。
- ・個人情報が公表されることはありません。

## 調査参加に伴う利益と負担

- ・ 研究に参加することで特別に得られる直接的な利益はありませんが、本研究から得られた結果は、若者の健康と生活を支えるための有益な示唆を得られる可能性があります。
- ・ アンケートへの回答が負担となる可能性があります。

## 同意の撤回

- ・ インタビュー調査は、研究参加に同意した後でも、その理由にかかわらず、いつでも同意を撤回することができます。  
同意を撤回しても不利益を受けることは一切ありません。
- ・ アンケート調査は、個人情報を取得していないため、回答後の同意撤回はできません。

## 倫理的配慮の詳細

研究の実施許可	本研究は、研究の実施に先立ち、横浜市立大学の「人を対象とする生命科学・医学系研究倫理委員会」によって審査・承認され、横浜市立大学医学研究科の研究課長の許可を得ております。
情報の保管および廃棄	情報の管理・保管は、横浜市立大学で行います。廃棄する際も細心の注意を払い行います。
情報の二次利用について	この研究で得られた情報を本研究の目的以外に利用する場合、改めて倫理審査委員会を承認を得ます。本研究への同意は、二次利用についても同意をいただいたこととなります。
研究の資金源と利益相反	横浜市立大学および国立研究開発法人科学技術振興機構の研究費で実施されます。
不利益を受けないこと	本研究に参加しなくても不利益を受けることは一切ありません。
健康被害に対する補償	健康被害が発生することは想定されません。
資料閲覧	研究計画書などの資料は、他の研究対象者の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で閲覧可能です。

## 問い合わせおよび同意の撤回の連絡先

研究責任者

横浜市立大学 医学部看護学科 地域看護学教室 教授 有本 梓

問い合わせ先：Minds 1020lab（研究事務局）

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1 オーシャンゲートみなとみらい8F

問い合わせフォーム：<https://forms.office.com/r/8UPF9xq19S>